

皇歴1192年・秋
ダンジョン都市桜花
第二十七番ダンジョン『月蝕』

『精霊大戦ダンジョンマギア』
蒼乃彼方ルートCP32

改竄最終層・啞鉢羅刹理

姉さん

お覚悟を

破あ
あああああああつ！



こちらは
僕に任せてっ！

彼方さんは
お姉さんをっ！

すまない
アーサー

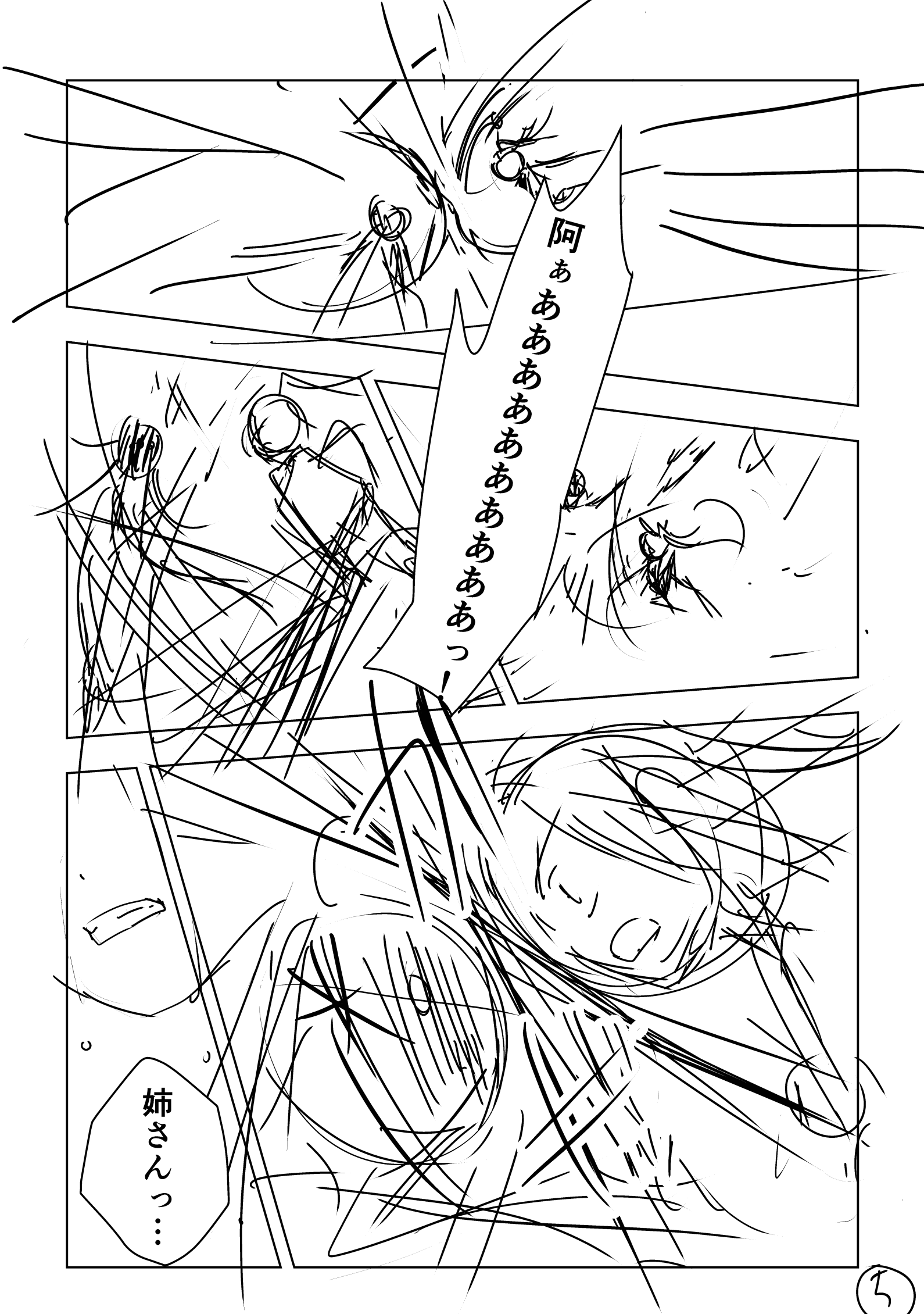
抜刀

『天羽々斬！』

無数の斬撃

斬殺手
打ちやろしと





オネガイ

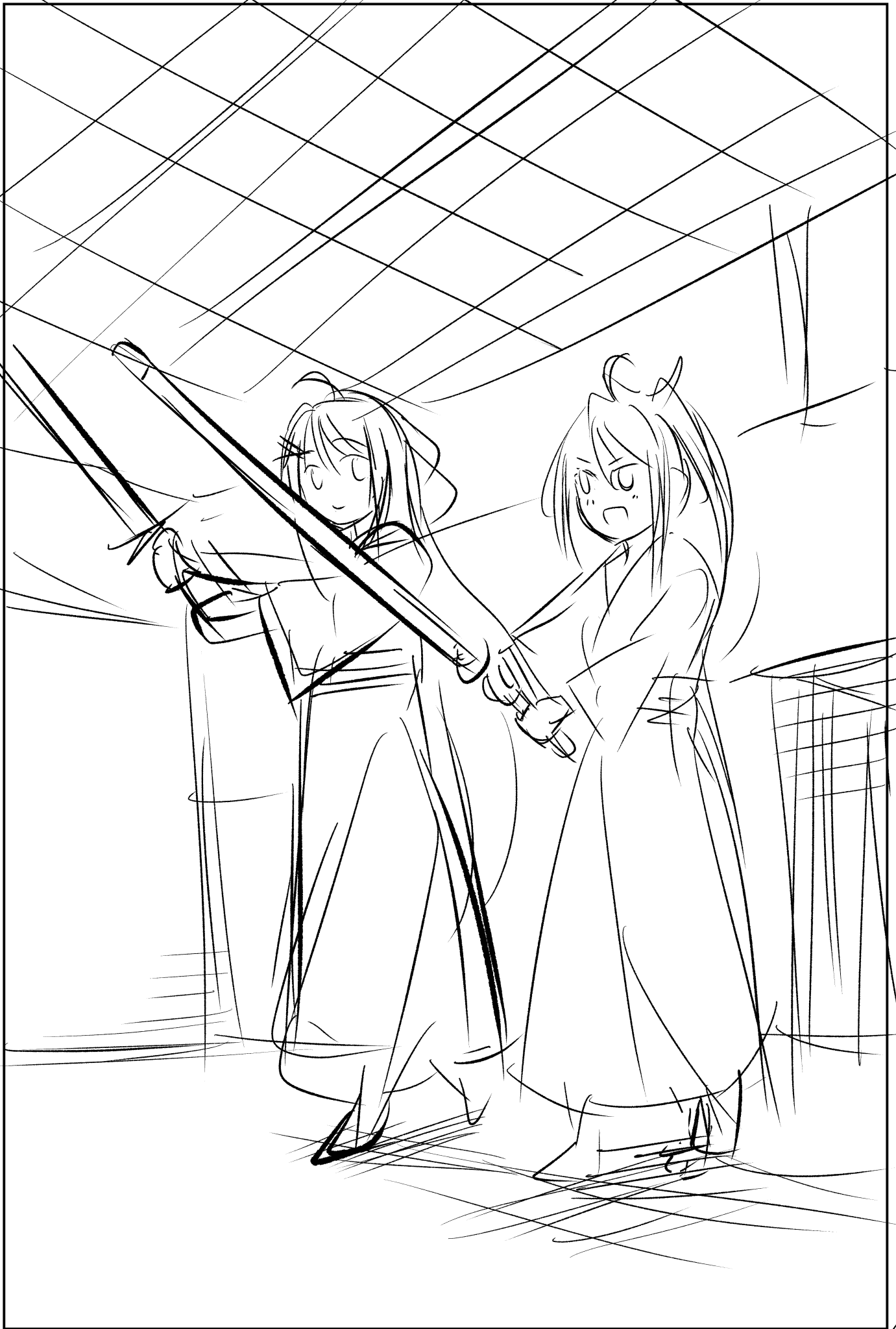
アタシヲ

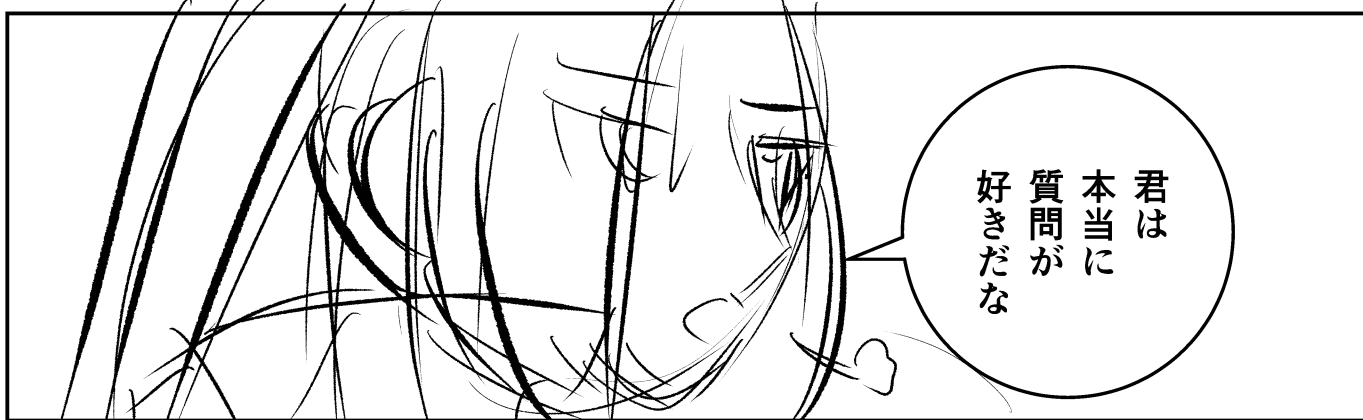
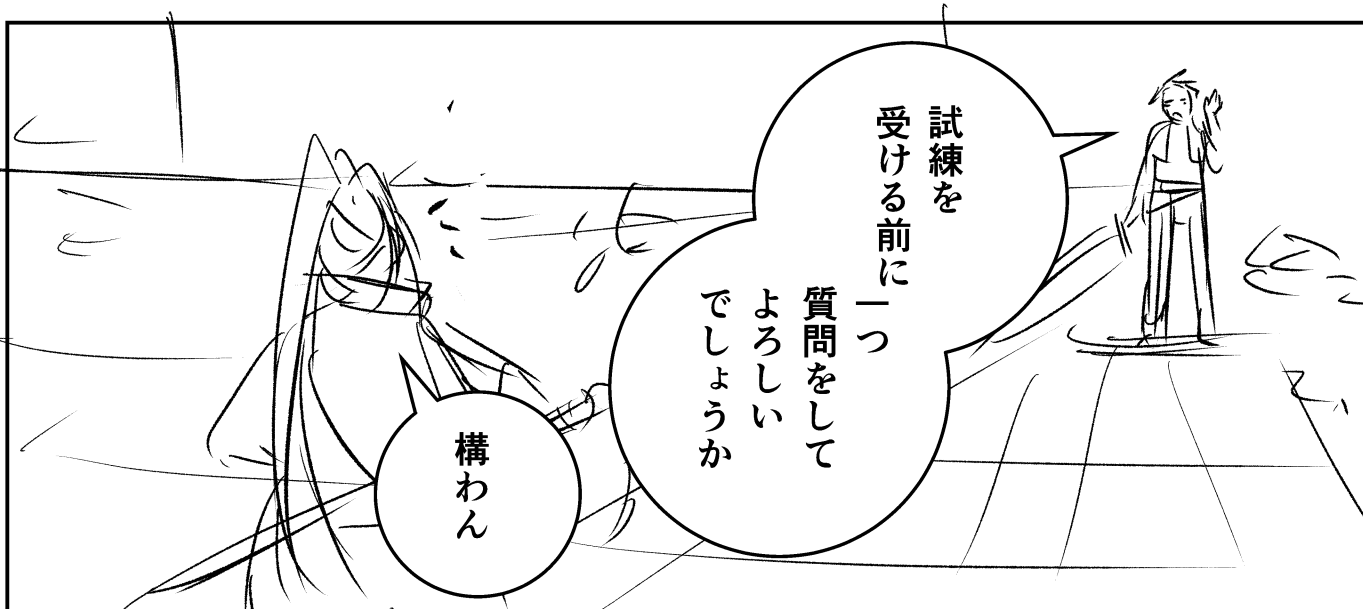
オワラセテ

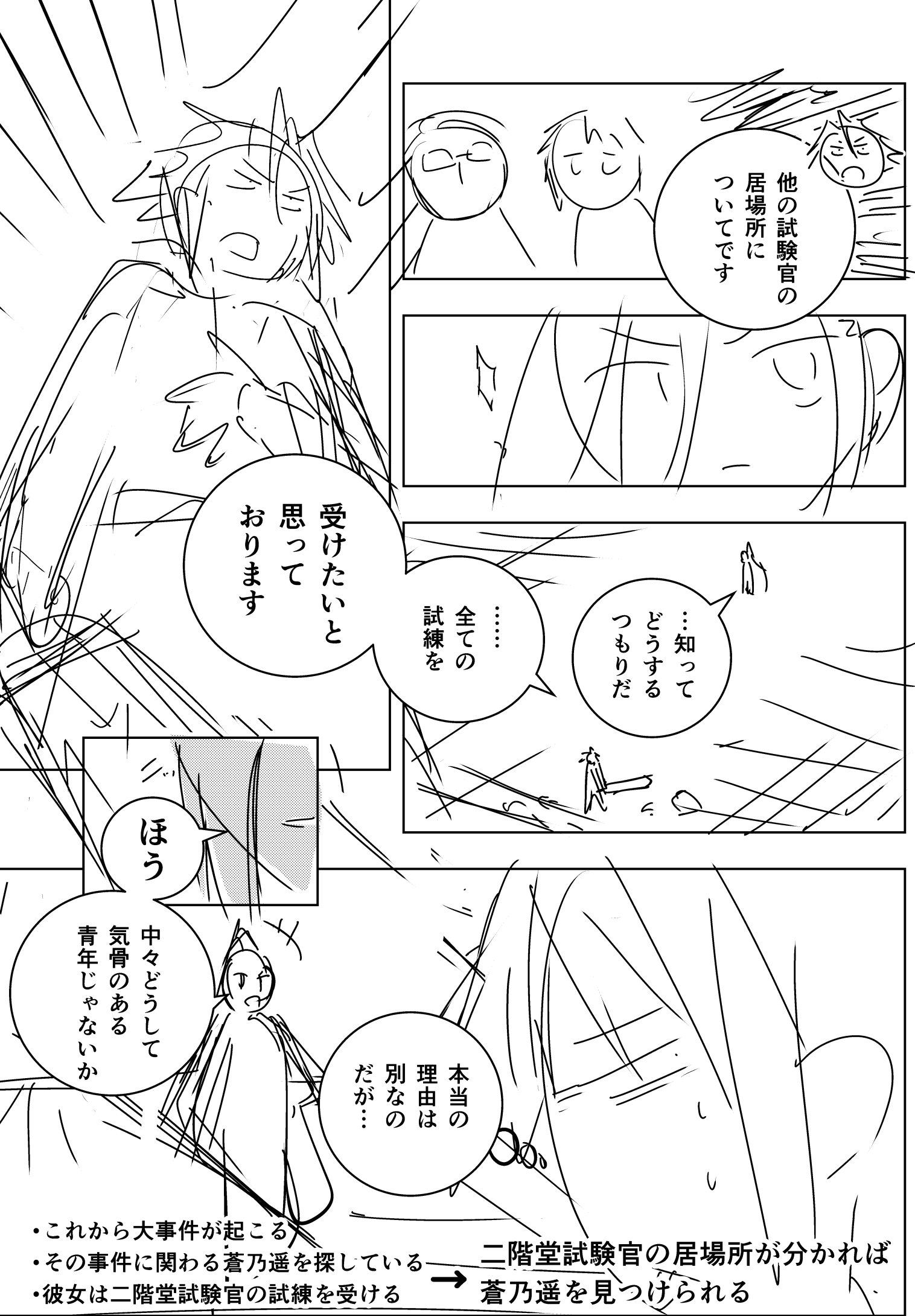
オ

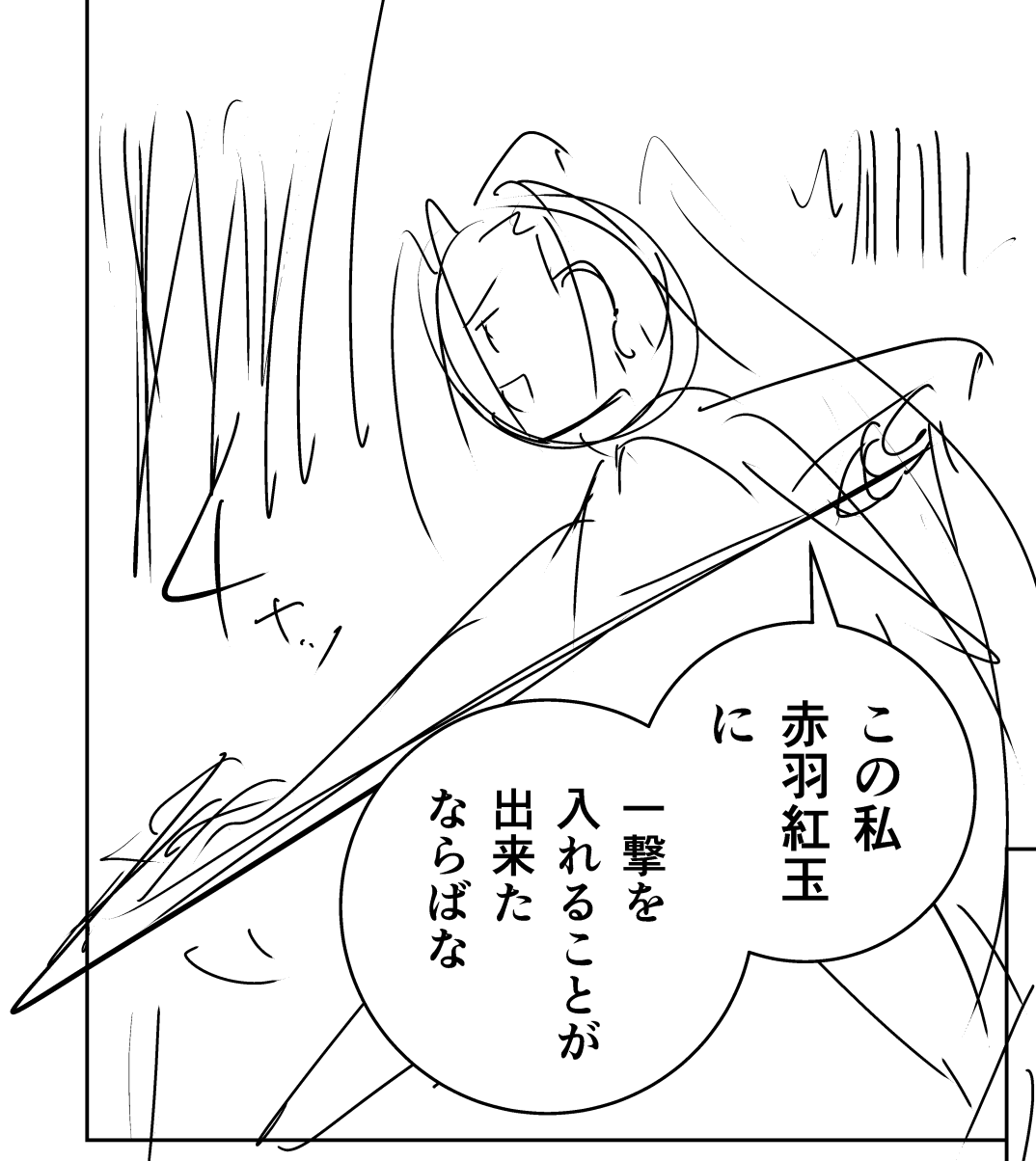
迎えに
来るのが
こんなに
遅くなって

本当に
ごめんねっ









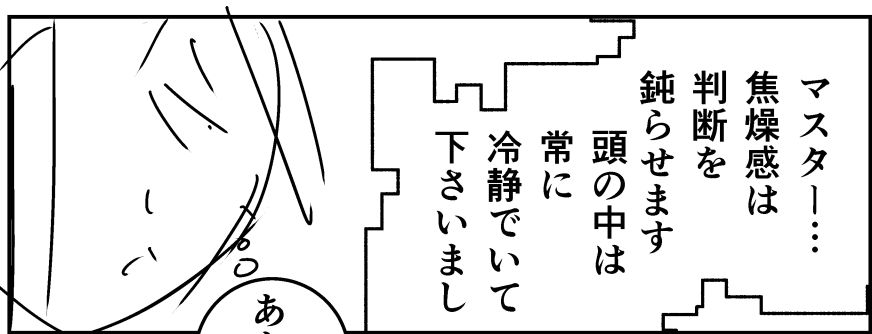
この私
赤羽紅玉
に
一撃を
入れることが
出来た
ならばな



ありがとうございます
ございます
それで
お答えの
方は？

もちろん
教えて
やるとも

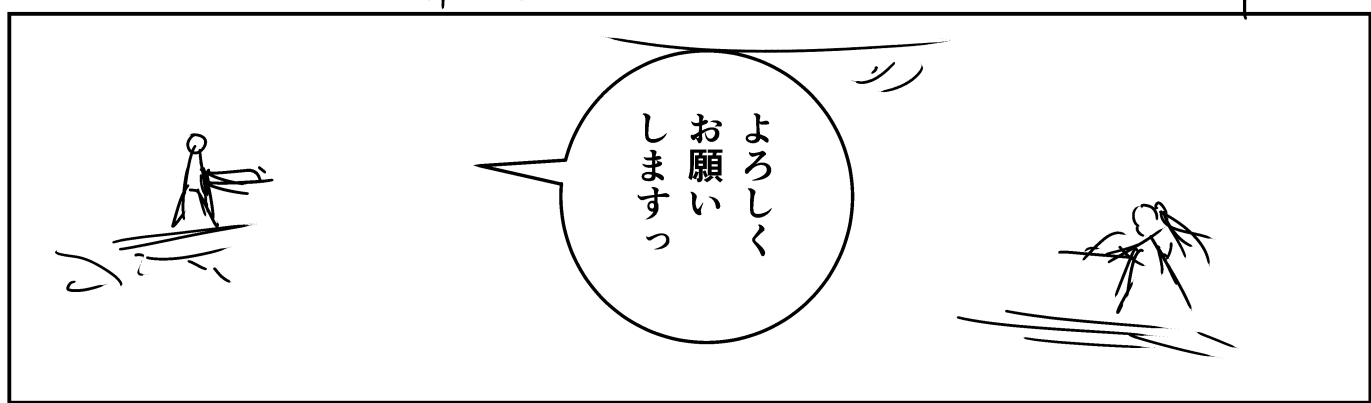
……
ただし



マスター……
焦燥感は
判断を
鈍らせませす
頭の中は

常に
冷静でいて
下さいます

ああ！



よろしく
お願い
しますっ

スキル発動…!

《思考加速》

《脚力強化》

この試練の
勝利条件は
赤羽さんに
一撃を
与えること

つまり
当てさえ
すれば
良い

余計な
攻撃力は
必要ない

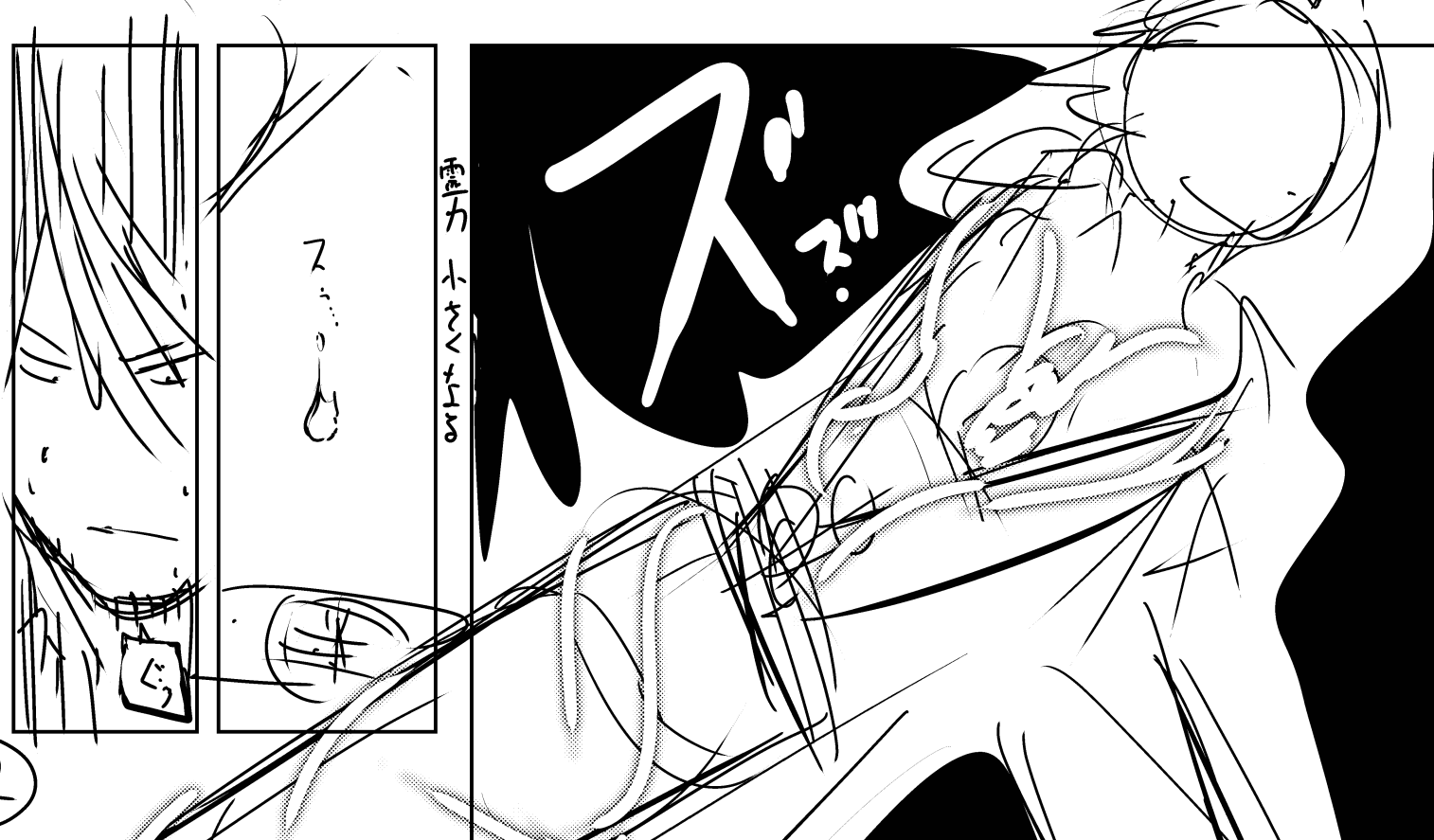
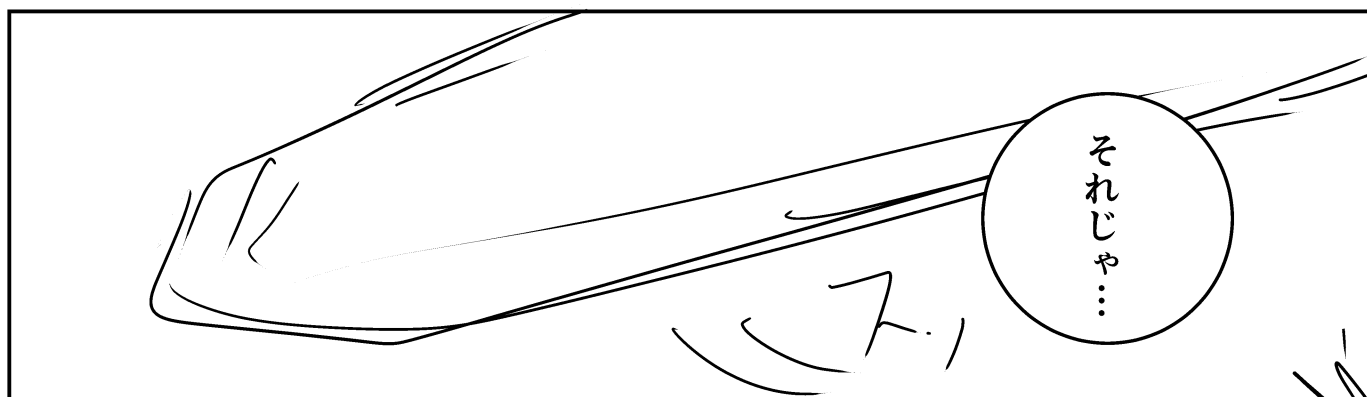
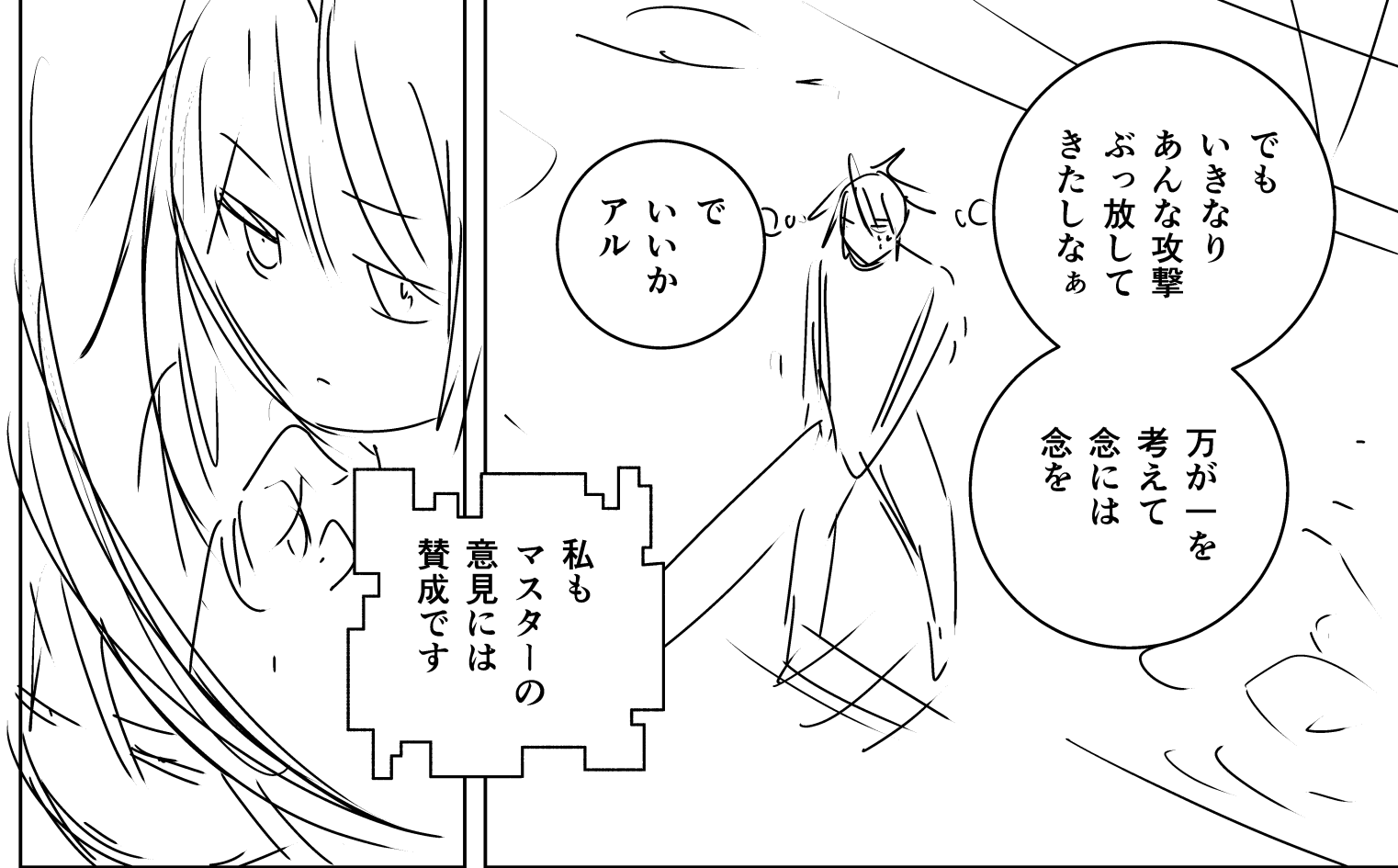
だから
こその
スピード
特化!

また
試験で
あるの
だから

ある程度の
手心が
入るのは
必然……

6:4
P27~28回観

必然?



何か術を
使用して
いるな

どうした？

来ない
のか？

すいません
少し準備に
手間取って
しまっ

俺って
本当――

いやあ

ダメな
男ですわ

予想より
速い……っ

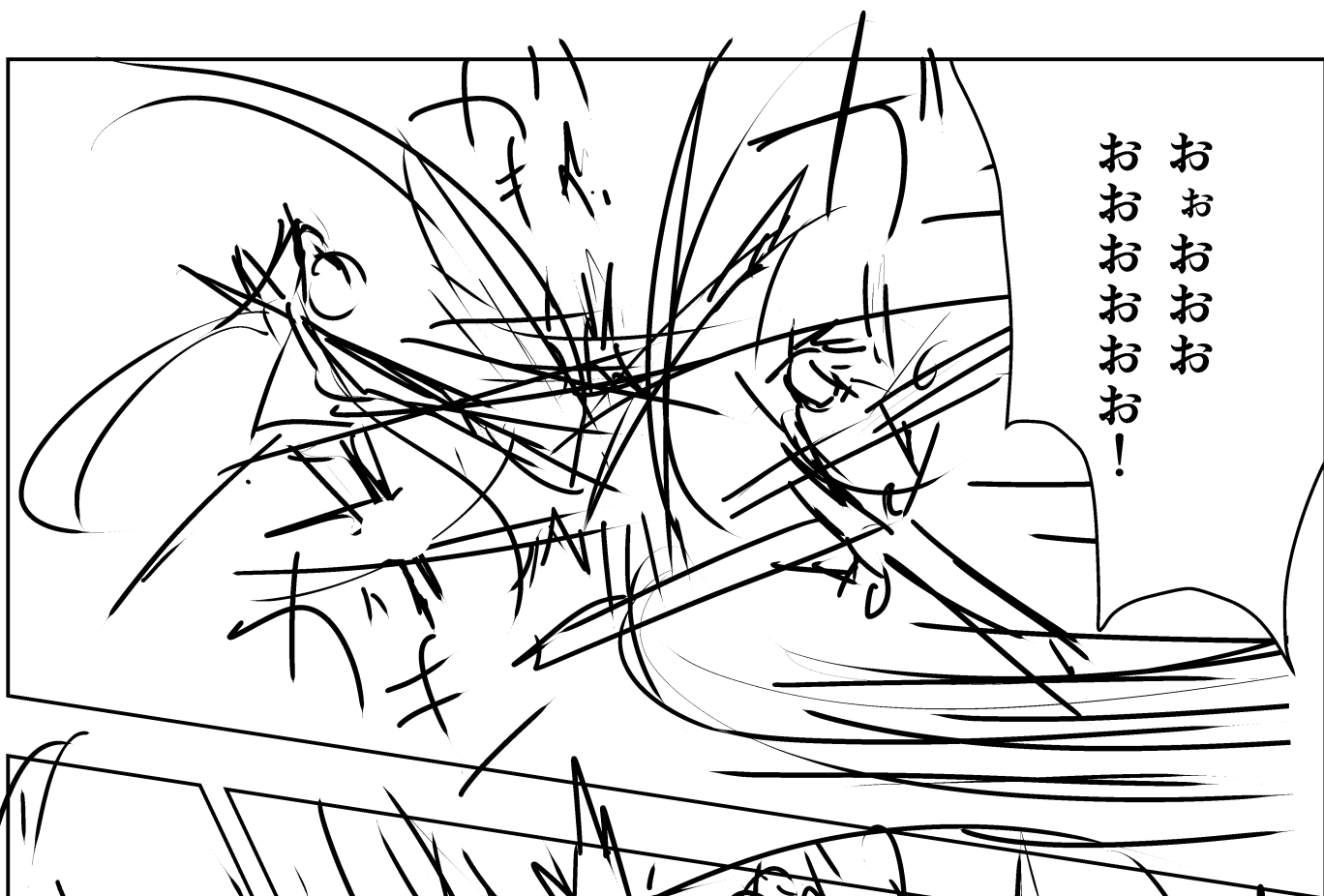


大剣…

攻撃範囲が
広い分
一撃に間隙が
つきやすいが

それは
大きさと重さに
振り回されて
いるからに
他ならない

だが今の
俺ならば
術マジックを
使わなくても
この程度の
重さ！



おおおおお
おおおおおお！



息を
つかせぬ
連続攻撃…

攻撃を
させない
つもりだな
強化スキルを
使うまででは
ないが—



良い
動きだ

太刀筋から
君の
たゆまぬ努力が
伝わってくるよ

とはいえ
大剣

事実
攻撃自体は
単純で
捌きやすい

いつまでも
連撃を維持
できない

さあ
どうする？

見ろ…

汗の量が
増して
きている

そろそろ
剣速も
遅く—

まだまだあつ！

…むっ？

攻撃速度が
落ちない……
それどころか

速くなって
きているっ

更に何か
強化スキルを
使用したか…

だが
なんだ？
この
違和感は

しまった…

くっ

逃がす
かよっ

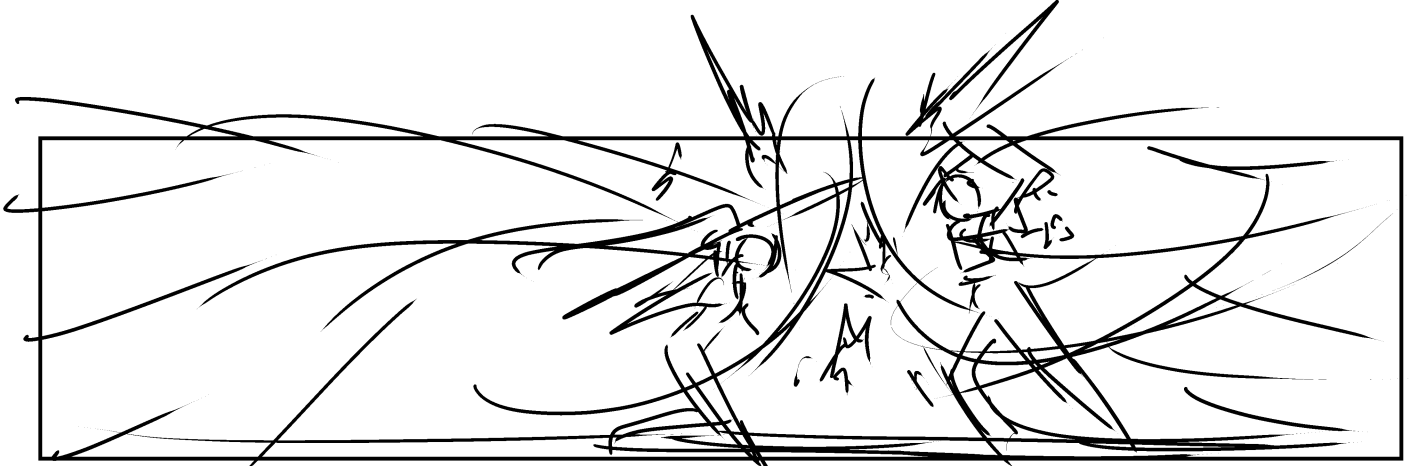
違う…
これは彼が速く
なったんじゃない

私が遅く
なっている
のか！

おそらく
速度を
奪う術…

ならば…！

それを上回る
身体強化を
使用すれば！



俺が貴女から
奪っているのは

「速さ」
アジリティ
「早さ」
ターン

対象の
フンタイン・クロック
固有時間経過速度
並びに

時間認知能力の
大幅減衰を
確認しました

武器同士の
激突を
媒介にした
《遅延術式》

発動成功
ですね

《遅延術式》

相手の動きと
意識を一撃で
停止状態へ
追い込む

本来は
放出系スキル
なのだが

ロングレンジ
遠距離攻撃
適性皆無な俺には
そのままの形では
使用できない

4回
対規

回想 7話

打ち合い
シーン

そして
最終的には
相手へ届ける
方法だ

その武器から
相手の武器

回想 7話

P12

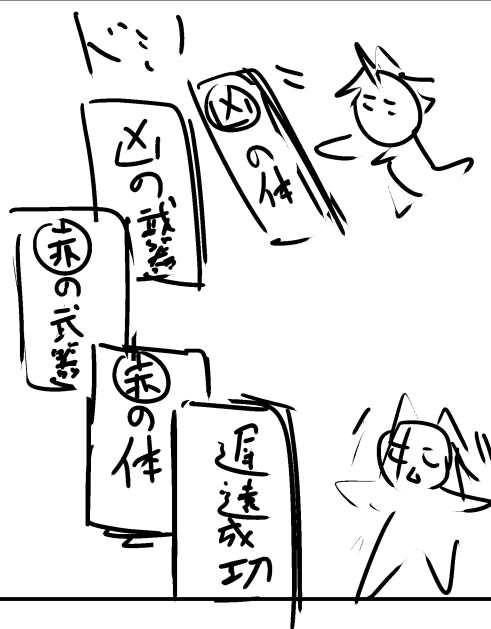
そこでアルと
苦心しながら
編み出したのが
このスタイル

武器に
術を纏わせ

即効性は
圧倒的に
落ちるが

力の伝播が
一気に
行えない為

武器の攻防
だけで
相手を無力化
できる



身体強化を
しても
無意味!

四次元からの
干渉に
物理的な力で
抗うことは
不可能なんだよ

出力を
上げているのに
追いつけない…
それどころか

動きが…
視認できない…!!

これ以上は
防戦主体だと
厳しいか…!

マスターの
霊力回復
しました

ここです

応!

スキル発動!!

《時間加速》

